

2024 年度 第 4 回 雄踏中学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025 年 2 月 13 日（木） 14 時 30 分～16 時 30 分まで
- 2 開催場所 雄踏中学校 1 階会議室
- 3 出席委員 藤田 源大、藤田 雅光、坂下 正泰、山内 勝己、種岡 裕美
関谷 みゆき、坂田 尚久、河瀬 俊夫、渥美 香由里
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 山下 博之（校長）中津川 広美（教頭）石塚 琢磨（教諭）
武田 伸江（教諭）大村 知広（教諭）
藤松 昌一（CSディレクター）
- 6 教育委員会 清水 悠（総務課グループ長）
- 7 傍聴者 0 名
- 8 会議録作成者 CSディレクター 藤松 昌一
- 9 開会挨拶（教頭）

本日はお集り頂きありがとうございます、委員全員の出席を頂き本日の会議は成立しました。本日の議題は前回議事録確認に引き続き

- （1）学校評価と雄踏中学校いじめ未然防止対策
- （2）学校運営協議会自己評価
- （3）令和 7 年度学校運営方針

について熟議をお願いしたいと思います。それでは会長、ご挨拶をお願い致します。

10 会長挨拶（藤田源）

本年度も第 4 回となりました。浜松市学校運営協議会規則を見直してみますと、学校の改善を目的としていると書かれていました。この委員会は、メンバーが充実していて、成果を上げていると自負していますが、今一度、原点に戻って熟議をお願いします。

11 校長挨拶

この学校運営協議会は、特色のある学校教育の提案をさせていただいています。今回もよろしくをお願いします。

12 前回議事録について（教頭）

- ・ 前回議事録資料に基づき内容を確認した。

13 学校評価、いじめ未然防止対策への熟議

（1）学校評価について（石塚）

生徒アンケートを見ると、情報モラルに対する意識の向上、先生に相談できていることがわかります。一方、保護者のアンケートでは、昨年度よりも学校に対する安心感が低くなり、情報モラルに対する不安感もわかります。また、職員アンケートは、自己肯定感の向上に力を入れている傾向が見えます。

学習面では、全国学力調査の結果を見ると、国語は漢字の正答率がかなり高いことがわかります。放送漢字テストの取組の結果です。しかし、自分の考えを記入することを苦手としている傾向があり、数学でも証明問題に課題が見られます。

全国学力調査の質問紙調査からは、他者との協調関係や地域との結びつきが強いという結果がわかります。

（2）いじめ未然防止対策について（大村）

本年度も浜松市の方針に従い、学期毎にいじめアンケートを実施、同じ時期に担任との面談も実施しました。また、ピアサポート活動（人間関係作り）も全校で月に 1 回実施しました。いじめ未然防止の活動として、アンケートの結果を生かすことと、ピアサポート活動をより一層充実させたいと考えている教員が多くいます。

「家庭・学校・地域の連携の在り方」と「情報モラルへの対策」について、皆さんのアイデアがあれば教えていただきたいです。

(3) 熟議（グループ別熟議の後、発表）

- ・坂田さん いじめ事案に対して、地域が直接関わることは難しい。また、先生は、保護者との意思の疎通をもう少し持ったほうが良いのではないか。
- ・正光さん いじめ対策への仕組みづくりの前に、もっと地域の行事を増やすなど、前段階の環境づくりが大事だと思います。

14 学校運営協議会自己評価に関する熟議

(1) 自己評価の集約について（教頭）

自己評価の提出ありがとうございました。今年度は、「〇〇ができた。」という意見が多かったです。この後の熟議は、ぜひ、来年度に向けたご意見を出してください。

(2) 熟議

- ・種岡さん 運営協議会の内容を、PTAに発信していきたい。よい活動が多いので、コミスクの活動を保護者に広く知ってもらえるようにしたい。
- ・坂下さん 情報発信は、小学校が盛ん。小中合同の協議会を開催したり、他校の良い取組や事例を見たりしてみたい。

15 令和7年度学校運営方針に関する熟議

(1) 学校運営方針の説明（校長）

学校運営協議会の役割として、学校運営経営方針の承認、方針に対して市への申立等ができます。現在の学校の状況として、以下の点を危惧しています。

- ・学習指導では、学力テストの結果を見ますと、30年前よりも下がっています。また、テストを受けていない生徒も10%いるので、学習指導の強化を図りたいです。
- ・生徒指導面においては、本校の不登校生徒の数（約8%）は全国平均と同じです。校内まなびの教室の活用も進んでいますが、その点も改善していきたいです。

この2点を意識し、雄踏中の目指すこどもの姿として、「人との関わり合いの中で互いの良さを認め、自分らしさを磨く子供」としました。来年度も、「3つのい（いのちを大切に、いじめ〇、創造一路（いちろ）」を常に語り掛けていきたいです。

(2) 熟議

- ・河瀬さん やはり先生が黒板に板書した内容を生徒がノートに書き、生徒が全員で授業を受けることも必要だと思います。
- ・校長 学習課題の板書が少ないと感じています。板書とICTを上手に使っている職員もいるので、若い職員にOJTで教育したいと思います。
- ・河瀬さん OJTについてですが、ベテランの指導スキルと若手のPCスキルを相互で伝授し合うような仕組みを作れたらよいと思います。

16 教育委員会より（総務課清水さん）

地域の皆様の力を借りながらの活動・熟議は、非常に有意義だと再認識しました。来年度もよろしくお願いします。

17 まとめ（藤田会長）

本学校運営協議会では、これまで「雄踏らしい教育」について話し合ってきました。今回は市教育委員会への提言として職員について意見を述べたいと思います。この学校に、雄踏出身の教員をぜひ増やし、中堅として、若手をOJTでしっかりと育てていただきたい。地域に根差した教育を実現するには、地元を卒業した教員が複数人必要です。地元精通した人材がいれば、中堅になってからそのネットワークを生かし、若手にしっかりとOJT教育をします。教頭、校長を支えるキーマンが必要だと思います。例えば、雄踏小から雄踏中へ勤務して子どもと一緒に成長していく職員など、災害時にも対応力を発揮できると思います。協議会の要望としてあげたいと思います。

- ・全員 異議なし

18 挨拶

- ・教頭 以上で学校運営協議会を終了します。